

# 2012年2月期 第2四半期決算説明会



株式会社クリーク・アンド・リバー社

2011年10月6日(木)



前年同期比 売上高115%、営業利益341%  
第二四半期連結累計期間において  
全ての項目にて過去最高の業績を達成

各セグメントにて増収増益を達成

第二四半期連結累計期間における計画上振れ分を  
通期計画において上方修正(9/28)

# 2012年2月期計画【連結】

[単位:百万円]	2011年2月期 実績	2012年2月期 計画(期初)	2012年2月期 計画(9/28修正)
売上高	14,137	14,500	15,000
営業利益	286	300	550
経常利益	300	300	550
当期純利益	89	100	220

# 2012年2月期 第2四半期業績【連結】

[単位:百万円]	2011年2月期 第2四半期	2012年2月期 第2四半期
売上高	6,758	7,782
売上総利益	2,277	2,611
販売管理費	2,159	2,206
営業利益	118	404
経常利益	126	424
当期純利益	16	172

法人税・少数株主利益  
214百万円

第1四半期決算時に、  
投資有価証券の評価損を  
特別損失として計上  
51百万円

# 2012年2月期 第2四半期業績【連結】

[単位:百万円]	2011年2月期 第2四半期	2012年2月期 第2四半期	増減率	進捗率 (通期計画)
売上高	6,758	7,782	115%	51%
売上総利益	2,277	2,611	114%	-
販売管理費	2,159	2,206	102%	-
営業利益	118	404	341%	73%
経常利益	126	424	336%	77%
当期純利益	16	172	1069%	78%

# 2012年2月期 第2四半期業績(セグメント別)【連結・売上高】

CREEK & RIVER Co., Ltd.



[単位:百万円]	2011年2月期 第2四半期	2012年2月期 第2四半期	増減率	進捗率 (通期計画)
クリエイティブ分野 (日本・韓国)	5,303	5,939	111%	50%
医療分野	1,025	1,122	109%	56%
IT・法曹・会計他	579	775	133%	51%
計	6,758	7,782	115%	51%

\* 消去の記載は省略しております

# 2012年2月期 第2四半期業績(セグメント別)【連結・営業利益】

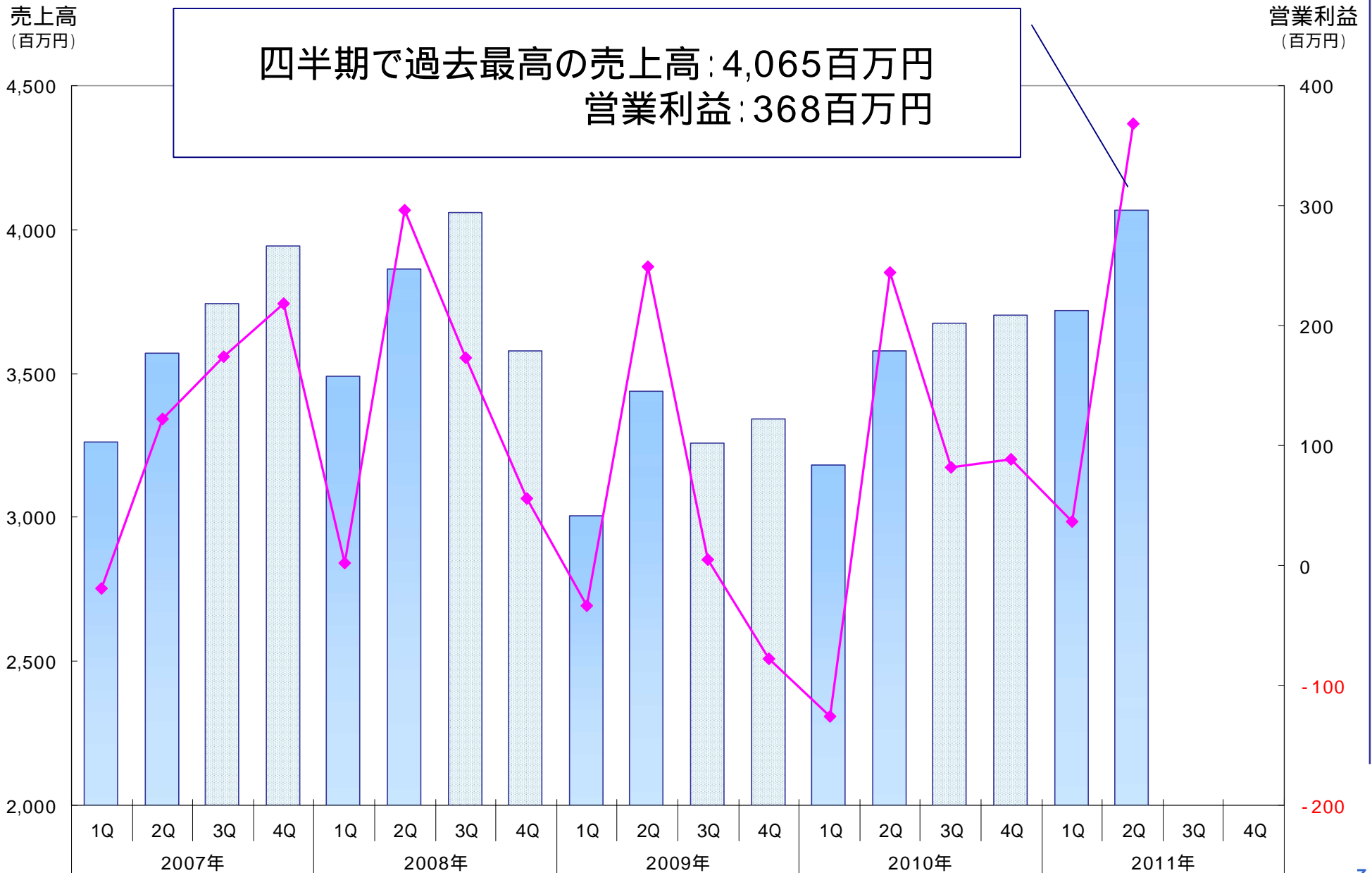


CREEK & RIVER Co., Ltd.

[単位:百万円]	2011年2月期 第2四半期	2012年2月期 第2四半期	増減率	進捗率 (通期計画)
クリエイティブ分野 (日本・韓国)	35	232	647%	61%
医療分野	142	206	144%	93%
IT・法曹・会計他	1	0	黒字転換	-
計	118	404	341%	73%

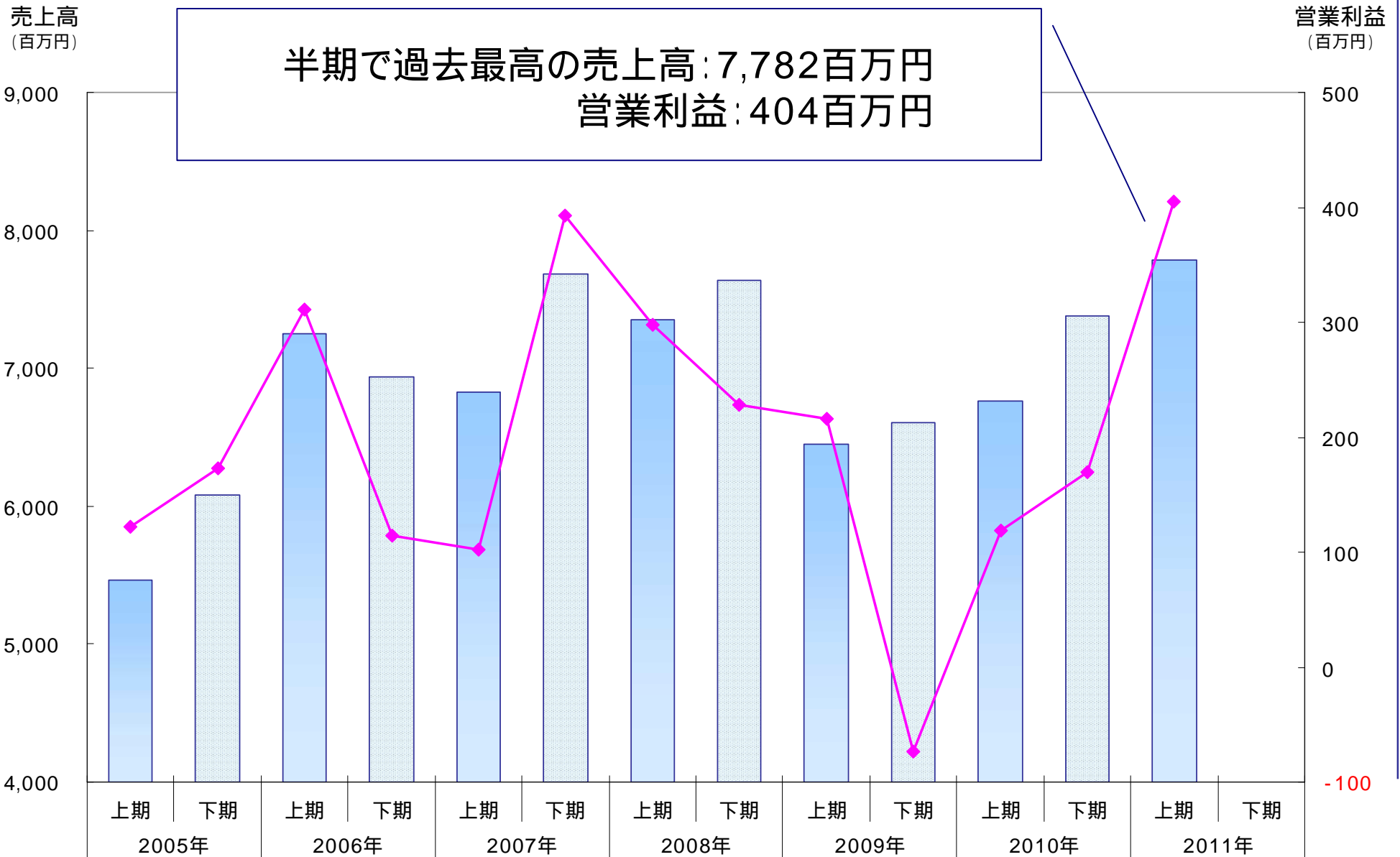
\* 消去の記載は省略しております

# C & Rグループ 四半期業績推移





# C & Rグループ 半期業績推移



# 2012年2月期計画【連結】 通期計画の考え方

[単位:百万円]	2012年2月期 第2四半期累計 計画(6/29発表)	2012年2月期 第2四半期累計 見込(9/28発表)	差異
売上高	7,200	7,700	+500
営業利益	150	400	+250
経常利益	150	400	+250
当期純利益	30	150	+120

# 2012年2月期計画【連結】 通期計画の考え方

[単位:百万円]	2012年2月期 計画(期初)	2012年2月期 計画(9/28修正)	差異
売上高	14,500	15,000	+500
営業利益	300	550	+250
経常利益	300	550	+250
当期純利益	100	220	+120

# 2012年2月期計画【連結】

[単位:百万円]	2011年2月期 実績	2012年2月期 計画	増減率
売上高	14,137	15,000	106%
営業利益	286	550	191%
経常利益	300	550	183%
当期純利益	89	220	247%

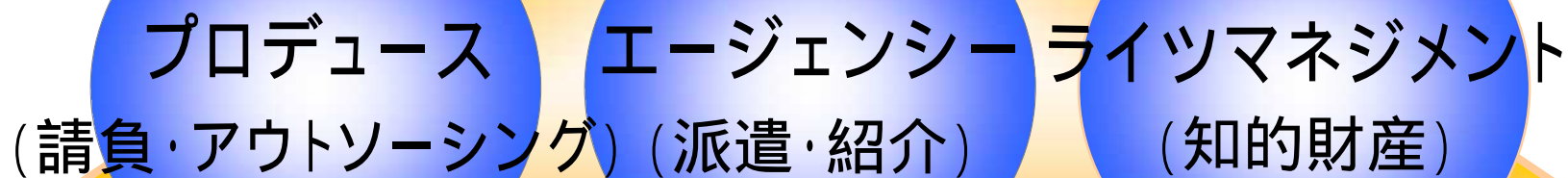
## C & Rグループが定義する「プロフェッショナル」

1. 世界中で活躍できる職種

2. 機械では決して代わることができない職種

3. 知的財産が蓄積される職種

《 事業の3つの柱 》



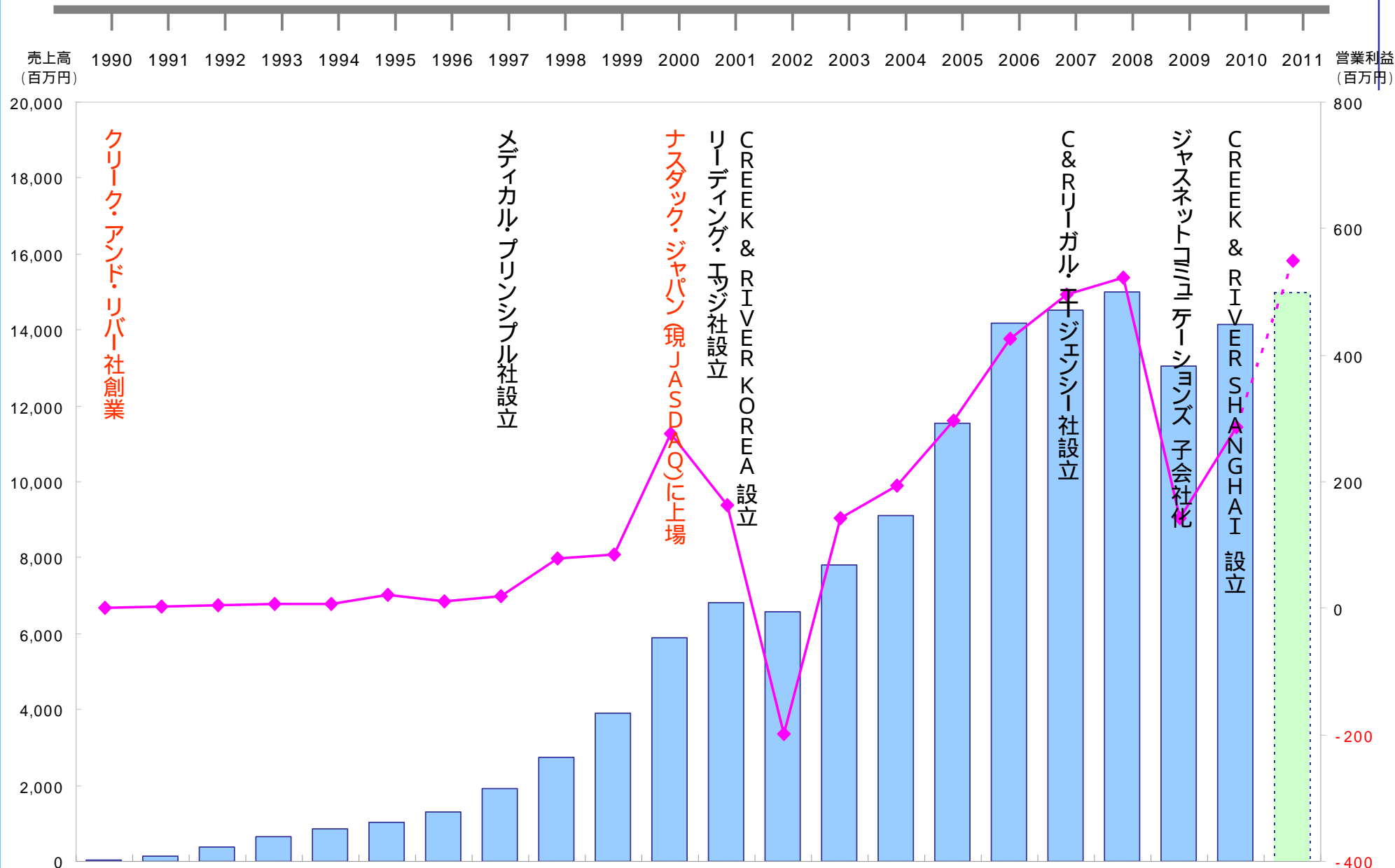


《 C & Rグループのミッション 》

プロフェッショナルの  
生涯価値の向上

クライアントの  
価値創造への貢献

# C & Rグループ 業績推移 及び 沿革





今後の成長に向け、以下をキーワードに取組強化

中国

電子書籍

EC

本格的な収益への寄与は来期以降の見込

出版エージェンシー事業 順調に契約数を伸張  
 日本 中国、台湾へのライセンス契約はこれまでで150タイトル  
 常時約1,500件のオーダーに対応

< 既に現地にて出版されたものの一例 >



< 出版契約が締結されているものの一例 >



中国の出版事情を伝える  
 フリーペーパー『華読』  
 発行:CREEK & RIVER SHANGHAI



## 電子書籍市場に向けた取組を強化

国内：電子書籍最適化サービスを開始 中国：漢王端末へのコンテンツ流通を推進



あらゆるフォーマットへの対応、最適な流通についてのコンサルティングを特徴とする電子書籍最適化サービスを展開



独占窓口契約を締結する中国電子書籍シェア1位 漢王科技に対し、継続してコンテンツ流通を推進

当社のサービスサイト



### 【サービス内容】

- ・最適なフォーマットの提案
- ・制作プロセスの設計によるコストの極小化
- ・校正プロセスの最適化
- ・制作管理、プロセス設計
- ・流通コンサルティング

コミック、ライトノベルを中心とし、約100作品を販売中  
中国におけるダウンロードの普及状況にあわせ、今後、タイトルを追加予定



出版社等からのニーズは旺盛  
順調に事業を推進中

## 2011年8月 北京視易購伝媒科技有限公司と テレビ通販事業において業務提携 ～ 日本企業及び日本商品に関する独占窓口～

10月より上海エリア150万世帯向けに運営を開始する (\* 来年度には1,000万世帯に拡大予定)

テレビ通販「**電視商城**」内**日本商品専門コーナー**に当社が商品を提供。  
日本企業に向け、テレビを通じた全く新しい販路を提供することが可能に。  
当社の持つクリエイティブ力を駆使し、今後積極的に展開。

電視商城 画面イメージ



# C & Rグループ 今後の成長に向けた取組

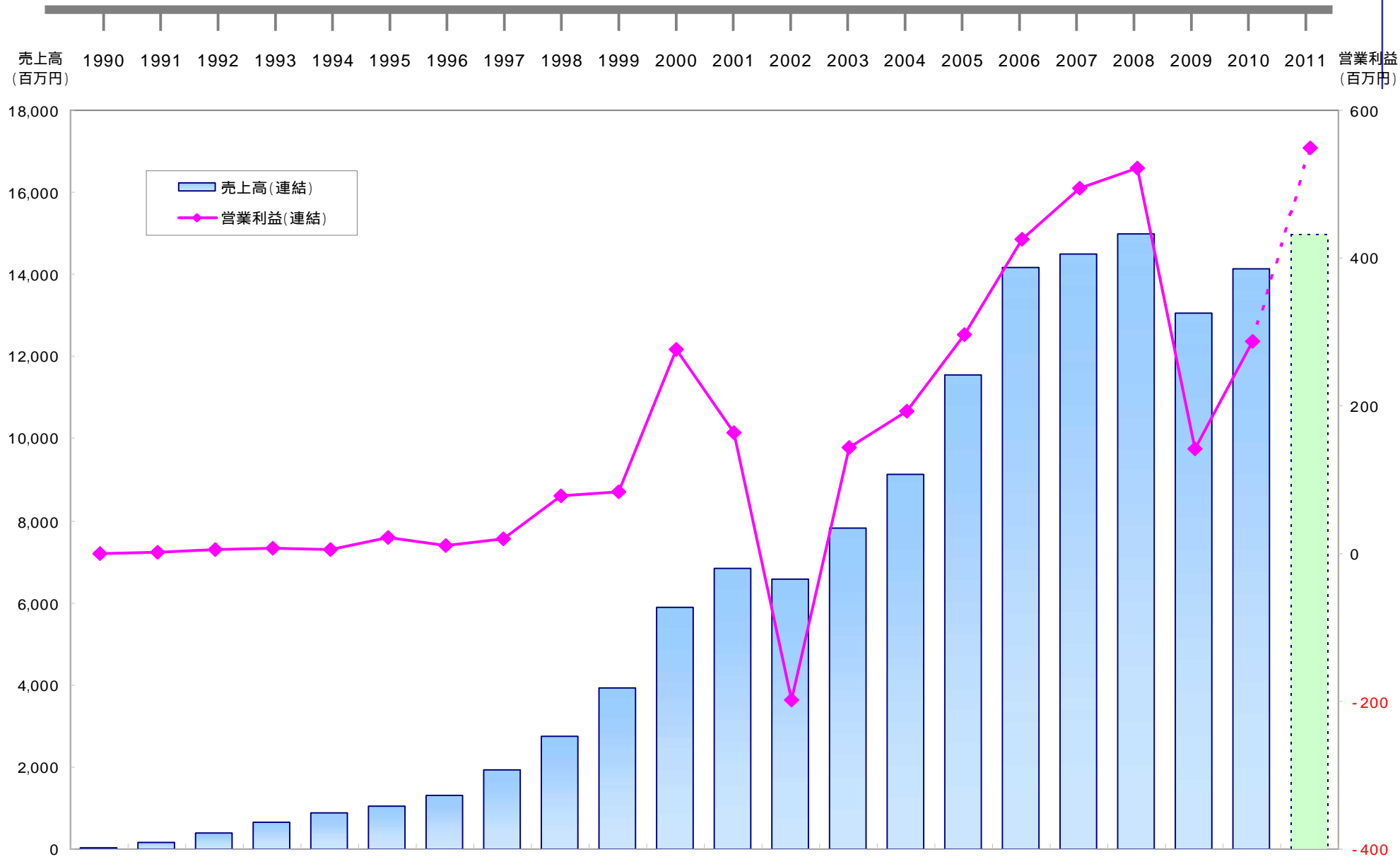
## 中国通販市場



## 「電視商城」が今までにない新しい通販サービスを展開

- ▼ TVをデバイスとして活用した通販サービス
- ▼ エリア別にマーケティングした商品選定
- ▼ 「世帯」(家庭)別にデータベースマーケティングを展開

# C & Rグループ 業績推移



## 将来の記述に関するご注意

この資料には、当社または当社グループ(以下、C & Rグループといいます。)に関する業績見通し、計画、方針、経営戦略、目標、予定、認識、評価等といった、将来に関する記述が記載されています。

これらの将来に関する記述は、C & Rグループが、現在入手している情報に基づく予測、期待、想定、計画、認識、評価等を基礎として作成しているものであり、既知または未知のリスク、不確実性、その他の要因を含んでいるものです。従って、これらのリスク、不確実性、その他の要因による影響を受けることがあるため、C & Rグループの将来の実績、経營業績、財務内容が、将来に関する記述に明示的または黙示的に示された内容と大幅に異なる可能性があります。

C & Rグループの主たる事業活動領域であるクリエイティブ・医療・IT・法曹・会計業界は、常に急激な変化に晒されています。C & Rグループに重大な影響を与え得る上記のリスク、不確実性、その他の要因の例として、技術の進化、需要、価格、金利、経済環境、競合条件の変化、法令の変更等があります。なお、かかるリスクや要因はこれらの事項に限られるものではありません。

当社は、この配布資料に記載されている将来予想に関する記述について、これらの内容を更新し公表する責任を負いません。